

ニラの省力的育苗法

県内のニラ産地では、冬春どりを主体に夏秋どりとの2つの作型を併用して栽培しているが、育苗に多労を要するため立て越し栽培が多く品質の劣化、収量の低下が問題となっている。そこで機械移植で1年株利用による高品質周年出荷が可能となるよう、省力的育苗法について検討したので紹介する。

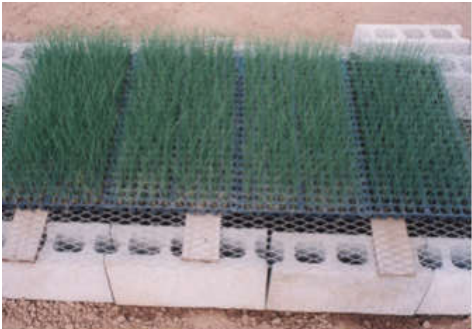
【育苗方法】

底面給水育苗方式は、板で枠を作り、ビニールシートの上に底面給水マットと防根透水シートを重ね、その上にトレイをおく。灌水は、播種後2週間まではトレイの上から行い、その後はトレイが1cm程度浸るよう灌水する。灌水量は晴天日で1トレイ当たり2リットル程度とする。

棚育苗方式は、コンクリートブロックの上に金属製の網をおき、その上にトレイを並べる。根鉢が乾燥しやすいため、晴天日には1日3回程度の灌水が必要である。



第1図 底面給水育苗



第2図 棚育苗

【育苗中の施肥】

施肥は、培土にあらかじめ緩効性肥料(マイクロロング)を8g/リットル混和しておく方法と、播種1ヶ月後から液肥を施用する2方法を検討した結果、前者の方が実用的である。

【苗質】

苗質は慣行苗>底面給水育苗マイクロロング苗>棚育苗マイクロロング苗、底面育苗液肥苗>棚育苗液肥苗の順であった(第1表)。苗は手でトレイから容易に引き抜きができ、根鉢の固化も行う必要がない。慣行苗は根が土中に出ているため断根作業が必要であったが、底面給水育苗、棚育苗方式ともにトレイの下に根が出ないため、機械移植が容易である。

第1表 育苗方法と苗質

方式	施肥	培土	葉数 枚	草丈 cm	葉鞘径 mm	地上部重 g	地下部重 g	合計 g	収量 kg/a	品種：スーパーグリーンベルト 播種：6月20日、定植：8月20日 220穴セルトレイ使用 移植機械：M式 重量は20株の合計、その他は20株の平均値 地付：慣行苗（M式地床育苗） 収量：5回収穫の合計値
底面	液肥	MKK	3.7	20.5	1.98	31	23	54	766	
底面	液肥	みのる	3.7	18.5	1.87	32	21	53		
底面	液肥	promix	3.6	18.5	1.90	28	20	48		
底面	マイクロロング	MKK	3.6	26.8	2.25	56	28	84	770	
底面	マイクロロング	みのる	3.6	26.4	2.08	48	30	78		
底面	マイクロロング	promix	3.6	24.5	2.27	45	35	80		
底面	液肥	MKK	3.3	14.9	1.48	12	12	24	760	
底面	液肥	みのる	2.9	13.9	1.45	13	15	28		
底面	液肥	promix	3.4	14.6	1.46	17	16	33		
底面	マイクロロング	MKK	3.6	22.4	1.88	35	25	60	723	
底面	マイクロロング	みのる	3.6	20.9	1.82	26	24	50		
底面	マイクロロング	promix	3.5	18.6	1.74	34	25	59		
地付	基肥	みのる	4.9	34.8	2.80	122	21	143	724	

【残されている問題点】

1年株利用で初期から多収を得るためには1穴あたりの播種粒数を増やす必要があり、検討している。(野菜部)